

発 刊 に 寄 せ て

■南信州地域の農業

当地域は天竜川沿いに連なる段丘の平坦地帯とそれに続く山間の傾斜地に耕作地が点在し、標高差のある変化に富んだ地形や温暖な気候を活かして、果樹、野菜、花き、畜産、菌茸などバラエティーに富んだ農業生産活動が展開されています。

特産の「市田柿」は、平成28年に地理的表示（GI）保護制度に県下で初めて登録され、食品衛生法改正に対応し、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理にも着手されるなど、更なるブランド化を進めています。

さらに、地域の特性を活かして茶や多くの伝統野菜も栽培されているほか、6次産業化の取組も盛んで、最近ではシードルによる地域活性化の動きが活発です。

農業を取り巻く様々な課題がある中、農業者及び関係者の知恵と工夫と努力により、南信州らしい特徴ある農業が展開されています。

なお、令和2年1月に日本で初めて確認された新型コロナウイルス感染症により、観光農園や花き、牛肉などの販売に影響を受けたほか、当センターにおきましても感染拡大防止のため、延期や中止などの対応をしながら活動を実施しました。

■今年度の普及活動の取組

第3期長野県食と農業農村振興計画の3年目の本年度は、振興計画の6つの重点戦略に基づき普及活動計画を策定し、農業者や関係機関・団体と連携して役割分担しながら活動を展開してきました。

特に地域で重要かつ緊急的な2課題については重点活動として位置付け、所内プロジェクトチームにより課題解決に当たりました。

【重点活動】

《ぶどう無核大粒品種「シャインマスカット」の産地振興》

2年目となる今年度は、昨年度立ち上げた「南信州シャインマスカット研究会」を核に、生育や栽培管理情報の発信・共有を行うとともに、熟練

農業者の栽培管理技術データの集積を進め、ICTの活用方法の検討を行うなど、栽培技術の向上による生産安定、品質向上を図りました。

《果菜類の施設化と連作障害対策による生産力向上》

3年目の最終年度となる今年度は、夏秋きゅうりの施設化の推進に当たり、高温対策として細霧冷房の導入効果や連作障害の原因となるネコブセンチュウ類の防除対策を取りまとめました。また、新規栽培者の確保と栽培技術向上のため、スキルアップセミナー等の開催や個別の支援を通じて、多様な担い手の確保・育成を図りました。

【一般活動】

各作目の生産振興に係る課題解決や市町村の地域振興については、6つの重点戦略の下、一般活動課題として取り組み、多様な担い手の確保育成や生産力の向上、地域の活性化について様々な成果が上がっています。

また、温暖化に対応した環境制御やスマート農業など、新たな技術導入についても取組を開始しました。

■将来を見据えて

本年度の普及活動に御支援、御協力をいただきました多くの農業者や関係機関・団体の皆様に改めて感謝申し上げます。ここに、令和2年度の普及活動の成果を「普及活動実績集」として取りまとめましたので、南信州地域の農業振興に御活用いただければ幸いです。

当地域は、リニア中央新幹線の開業や三遠南信自動車道の整備により、地域を取り巻く環境が大きく変わりつつあります。さらに、新型コロナウイルス感染症や温暖化に伴う気象災害など、これまでに経験したことのない事態も想定しながら、地域や情勢の変化に対応した普及活動を今後も展開してまいります。

令和3年3月

南信州農業農村支援センター所長 春日敏彦